場所　９組教室

９組　自立活動学習指導案

授業者　杉浦　美穂

１　単元　「目と手と頭をきたえる自立」

～道具マスターをめざせ！～

探究課題「いろいろ道具を使って、その道具の使い方のコツを見つけよう！」

２　本時の指導

（１）段階　「習得」　５／８　時間

（２）目標

・同じピンセットでも使い方を工夫することで正確で効率よく作業ができることに気付くことができ、どう工夫すればよいか考えようとすることができる。

（「習得」に関わる目標）

（３）本時の指導展開

時間	学習活動	教師の手だてと支援
0	１　ウォーミングアップを行う。	・授業の始まりを意識できるように、帯活動を取り入れる。
2	２　(帯活動)ビジョントレーニングを行う。	
5	３　学習課題を設定する。	・前時のワークシートを確認することで、前時の活動を思い出せるようにする。
	学習課題　ピンセットでいろいろなものをつまんでみよう	
15	４　ピンセットを使って、ビーズをつまむ。 ・先が丸いピンセットの方がつまみやすい。 ・ビーズの大きさによって、つまみやすさが違う。	・つまみやすさの差を感じることができるように、先の形状が違うピンセットを用意する。 ・同じピンセットでもつまみにくさの差を感じることができるように、大きさや形の違うビーズを用意する。
30	５　ピンセットを使って、シールをつまむ。 ・先が尖ったピンセットの方がつまみやすい。 ・シールの台紙を折るとシールがつまみやすくなる。	・効率よく作業できる左手の使い方に気付くことができるように、いろいろなシールの持ち方を写真で提示する。 **◎つかみやすさが持続するように、ものの配置・手の使い方など、工夫している友達の様子を確認し、全体に共有する。** ・工夫した点を実感できるように、全体で体験できるようにする。
45	６　振り返りを書く。 「ピンセットの先が違うだけで、ビーズやシールのつまみやすさが全然違うことがわかりました。どの道具が適しているか、考えて使えるようになりたいです。」	・探究課題に迫ることができるように、「使い方のコツを見つけられたかどうか」という視点で振り返るように指示する。

３　評価

・同じピンセットでも使い方を工夫することで正確で効率よく作業ができることに気付くことができ、どう工夫すればよいか考えようとすることができたか。

（ワークシートへの記述、振り返りの内容から判断する。）